

THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN  
**佐土原ロータリークラブ週報**



識字率向上月間

第748回 平成14年 7月 3日(水)

ビチャイ・ラタクル

2002-03年度  
RI会長

〔本日のプログラム〕

1. 点 鐘
2. 国 歌 齊 唱
3. ローターリソング  
「手に手つないで」
4. 「四つのテスト」 唱和
5. 食 事
6. 会 長 の 時 間
7. 幹 事 報 告
8. 委 員 会 報 告
9. 7 月 セ レ モ ニ ー
10. 会 長 ・ 幹 事 就 任 挨 拶
11. 点 鐘

次 回 予 告

★ 7月10日(水)  
 会員卓話  
 岩切徳夫 君

★ 7月17日(水)  
 ローターリ情報  
 直前会長・幹事  
 感謝状贈呈

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会 長	宮原 建樹
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	林 厚雄
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17 ☎880-0212	幹 事	中武 幹雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会 計	佐藤 高元
		会報委員長	池田 仁志

## 第 7 4 7 回例会記録

(2002. 6. 26)

### ☆会長の時間

会長 吉田 康一郎 君

皆様今晚は。本日は第747回の例会で  
ございます。いよいよ本年度最後の例会  
で、年度末懇親会という事になりました。  
会場を池田会員の「カエルスタンダン」に致  
しました。

先だってより何回も申しておりました  
が、本当に今日が最後になりました。  
1年間、気を張って参りましたので、何  
だか肩の荷がスーッと下りたような気が  
致します。

福井親睦委員長が私と幹事の岩下君が  
ゴルフが好きなのを承知して、気を利か  
して送別ゴルフコンペを計画してくれま  
した。そして15名の会員の参加  
を頂き、大変盛り上がり、天気まで最高  
のコンディションになりまして、お陰様で  
素晴らしい1日をプレゼントしていただ  
きました。本日はそのゴルフの表彰もあ  
るようで大変楽しみにしているところで  
ございます

思い起こせば、1年前にこの場所にて  
懇親会をやりました時、色々ありました  
事を思い出しております。あれからもう  
1年過ぎたのですね。

色々反省しながら、ロータリー活動を  
自分なりに精一杯やったつもりですが、  
皆様には至らない事ばかりで大変申しわ  
げなく思っておりますが、どうぞロータ  
リーの友情に免じてお許し下さい。

今後は新会長の宮原建樹君を陰ながら  
応援し、支えて行きたいものと思ってお  
ります。

1年間の皆様の御協力、誠にありがとう  
ございました。

### ☆幹事報告

幹事 岩下 廣美 君

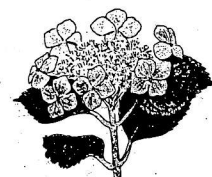
愈々、本日私の幹事年度、最後の例会  
になりました。尽きないものもありますが、  
今日の日を無事に迎えられた事に感謝  
しております。

1年間のご協力、本当にありがとうご  
ございました。

### ☆出席報告

委員長代理 田村 勝二 君

会 員 数	30名
例 会 出 席 者	20名
出 席 率	66%
メークアップ者数	3名
修正出席率	76%
欠 席 者 名	恒吉、後藤、赤木、太田、米澤、 近藤、宮本。





次期ガバナー補佐  
菊地 平 君の略歴ご紹介

所属クラブ 宮崎西ロータリークラブ  
生年月日 昭和8年11月28日  
職業分類 コンピューター  
住 所 宮崎市東大宮2-26-31

R C 歴

1973年12月4日入会  
1994年11月4日再入会  
2000年～2001年  
宮崎西RC会長  
ボーク・ハリス・フェロー

現 職

株式会社 MOS 代表取締役  
東亜自動車(株) 専務取締役  
(株) 宮崎県ソフトウェアセンター  
取締役副社長

公 職

社団法人 宮崎県情報産業協会  
会長  
財団法人 宮崎県産業支援財団  
理事



☆ご挨拶

次期ガバナー補佐 菊地 平 君

今日は、ご紹介頂きました、次期ガバナー補佐の菊地 平と申します。宮崎西RCに所属しております。

早速ですが、目を通し始めると睡眠業代わりになるような、少々ややこしい手続要覧というロータリーの書籍がありますが、これに次年度会長は地区協議会が終わったら3週間以内にクラブ協議会を開きなさい、という欄があります。

そして、ガバナー補佐には、リーダーシッププランというのがあり、次年度各クラブ会長と会期が始まる前に懇談する機会を持つという事になっておりまして、月1回、各クラブを訪問という事になっておりますが、それはちょっと厳しすぎるので、四半期毎に1回でいいのではないかとガバナーが言われ、ホッと致しておるところでございます。

年4回訪問という事ですので、本日第1回目の訪問ということになりました。

当クラブには山脇忍君という先輩もおられ、地区のクラブ奉仕委員会にも所属いただいておりますし、非常にレベルの高いクラブだと認識致しておる所であります。

お伺いすると当クラブは来年度、15周年を迎えられるとのこと、15年というのは昔であれば、男子は元服式を迎える年でもあります。

周年を祝うことの意義は物事を継続発展させると共に関わっている人達の意識の更なる先鋭化ということになると思います。5年経ち、10年と経過するのにとすればマンネリ化する組織のあり

方を、古きを訪ねて新しきを知る（温故知新）というところに周年行事の意義があるわけですので、15周年をどう過ごすか、来年度は一つの節目であろうと思います。来年度のRI会長は、タイ国のバンコク在住のビチャイ・ラタクル氏が就任されます。氏は国会議員、大臣等の要職を歴任され、日本の天皇からも勲章を戴いているという方で、熱心な仏教徒であります。そういう事もありまして、来年度のテーマは『慈愛の種をまきましょう』

(Sow The Seed of The Love)

という事であります。国によってそのとらえ方は違ひまして、弊社の社員に翻訳をさせましたものをお手許に配布しておりますが、フランスでは『愛をまいて下さい』。ドイツでは『ロータリーは心と助け合い』イタリアでは『愛をまくことを広げよう』等々です。『慈愛の種をまきましょう』とは誰にでも分かる言葉で我々の国に最も適したテーマだと思ひます。

私は良寛和尚が好きで、5年前和尚の故郷、新潟県の長岡に行って参りました良寛がある女性に書き残している手紙の中に戒語（賢真戒めの言葉）と言うのが有りまして、90語位ありますが、こんなにもあるのかと思ひます。（イスラムでは戒めの言葉は600位あるそうです）

そして、良寛さんはその反対の言葉で愛語というのを書き残しておられます。

愛語は愛心より起こる、愛心は慈心を種子とせり…慈心を種子として花開くのが愛語である…と書いてあります。

我々は色々なロータリーの活動の中で心を込めて、心からお幸せに、とか元氣にとかいう言葉を掛けているか、という事だと思ひます。勿論、今回、ビチャイ

ラタクルRI会長は特段の事を皆さんに押付けは致しません。但し下から盛り上がる様な（ボトムアップ）運動をお願いする、とっておられます。

会員拡充、拡大にしてもこの4年間で40万人のロータリアンが退会しております。勿論入会した人もおり、実質3万2千人位減少しておるわけです。

全世界で20名以下のクラブが実に16%あります。その事を考えますと大変な時代になったな—という気が致しますが、只、問題なのは90%の会員が新会員を紹介していないという事実であります。90%と言いますと、ここで申し上げるのは大変恐縮でございますが、この中の9割の方が新会員を連れてきていないという事実が全世界的にあるという事であります。この事を改善して行けば会員は増やせるということになると思ひます。

ビチャイ・ラタクル氏が何故RI会長になられたか、の経緯はまたの機会にしたいと思ひますが、奉仕のきっかけは我々の極々身近にあるとも云われております。

これからクラブ協議会でそれぞれの方から、ご発言等あることと思ひますが、是非ご自分の職責を1年間でありますので、一生懸命務めて頂きたいと思っております。特に会長、幹事は代表権を持っている非常に珍しい会組織でございます。どうぞ幹事の方は遠慮なく代表取締役として会を背負っているんだと云う気概を持ってお働き頂きたい。SAAは職務としては国務大臣並みで、警察庁長官位の権限がありますから、例会の出来、不出来はSAAの腕に掛かっていると云えます。

少ない人数であろうとも、小粒でもピリッと光るようなクラブであります様、ご期待申し上げたいと思ひます。